

日本土壌微生物学会 2023 年度定期総会資料

2023 年 6 月 11 日（日）16:00～16:40（予定）

千葉大学松戸キャンパス（園芸学部）

総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 2022 年度事業報告
 - 1) 大会報告
 - 2) 会誌出版・編集報告
 - 3) 幹事会報告
 - 4) 会計報告
5. 2023 年度事業計画
 - 1) 事業計画案
 - 2) 予算案
6. その他
7. 議長解任
8. 学生優秀発表賞受賞者表彰
9. 次年度大会実行委員長挨拶
10. 閉会の辞

2022 年度事業報告

1) 2022 年度鹿児島大会

日時：2022 年 6 月 18 日 (土) ～6 月 19 日 (日) オンライン (Zoom) のみの開催

大会参加者数：149 名 (会員 130 名、非会員 19 名)

市民公開シンポジウム参加者数:63 名(大学 21 名(うち学生 16 名)、公的機関 18 名、民間企業 14 名、個人・その他 10 名)

一般講演 41 件 (口頭発表 23 件(うち学生 12)、ポスター発表 18 件(うち学生 6))

大会シンポジウム「土壌微生物の植物共生・寄生の機能と生態 -制御の可能性-」3 題

市民公開シンポジウム「持続可能な食糧システムの構築 -土壌微生物学的アプローチ-」3 題

2) 会誌出版・編集報告

(1) 「土と微生物」出版報告

①Vol. 76-2(2022 年 10 月発刊) 62 頁: 特別企画 1 編, シンポジウム 4 編, 原著論文 1 編, 日本土壌微生物学会 2022 年度大会講演要旨

②Vol. 77-1(2023 年 4 月発刊) 50 頁: 追悼 1 編, 巻頭言, 特別企画 2 編, シンポジウム 2 編, 原著論文 1 編, こんなことが、いま

(2) 「土と微生物」投稿状況 (2023 年 6 月 1 日)

	原著論文			シンポジウム・総説・解説		
	受付	受理	審査中	受付	受理	審査中
2023	0	0	0	2	2	0
2022	2	2	0	8	8	0
2021	2	0	0	5	5	0

3) 幹事会報告

(1) 2022 年度第 2 回幹事会

日時：2021 年 12 月 22 日 (木) 13:00～15:28

開催方法：Zoom によるオンライン形式

(報告事項)

- ① 齋藤総務幹事が、2022 年 12 月現在の会員動向について、正会員数は 5 月との比で、5 名増の 335 名と報告した。
- ② 鮫島会計幹事が、2022 年度会計執行状況について報告した。
- ③ 染谷編集委員長が「土と微生物」誌の編集状況、投稿状況について報告した。
- ④ 2022 年度鹿児島大会について、境大会運営委員長が報告した。

- ⑤ 宍戸委員が日本農学会運営委員会について報告した。
- ⑥ 二又委員が日本微生物生態学会関連について報告した。
- ⑦ 小川総務幹事(代理)が日本学術会議関連について報告した。
- ⑧ その他 丸本卓哉先生ご逝去を受けて、訃報記事の執筆を依頼することが決定された。また、評議員選挙で、投票用紙を返送時に入れるための無地の封筒は、事務作業を軽減するために、今回の選挙も含めて今後使用しない方向が決定された。

(審議事項)

- ① 基金について、小川総務幹事より資料に基づいて説明があり、審議の結果、応募を採択し、配分を20万円とすることが了承され、評議員会に諮ることになった。また、今後、応募の活性化のためにできることを検討することとなった。
- ② 第26-27期日本学術会議会員・連携会員について、日本学術会議より、候補者の推薦依頼があったが、情報は日本農学会等から入るので、土壌微生物学会から独自に候補を推薦することは行わないこととなった。
- ③ 「土と微生物」誌電子ジャーナル化構想について、二又総務幹事から、資料に基づいて説明され、今後、次回の総会での提案等を行って推進していくこととなった。
- ④ 2023年度千葉大会について、宍戸会長（兼千葉大会運営委員長）から、現地開催とWebでの遠隔参加によるハイブリッド方式によって開催する予定である旨の説明が行われた。

(2) 2023年度第1回幹事会

日時：2023年5月31日(水)13:00~14:30

開催方法：Zoomによるオンライン形式

(報告事項)

- ① 齋藤総務幹事が2023年5月現在の会員動向について、正会員数は昨年5月との比で、3名増の333名であることを報告した。
- ② 鮫島会計幹事が資料に基づいて、2022年度の会計報告を行い、次いで、2022年度の会計監査報告の内容を紹介した。
- ③ 染谷編集委員長が「土と微生物」誌の編集状況、投稿状況について報告した。
- ④ 宍戸委員が日本農学会運営委員会について報告した。
- ⑤ 二又委員が日本微生物生態学会関連について報告した。

(審議事項)

- ① 2023年度予算案について、鮫島会計幹事から資料に基づき提案された。2023年度名古屋大会に準備金として30万円を送金することとなった。
- ② 地域選出評議員選挙投票要領の改定について。直近3回の投票方法に基づき、会誌の巻末に記載されている現状の「投票要領」から、以下の取り消し線部分を削除したものに変更することについて、千葉大会会期中に開催される評議員会に諮り、承認されたら、

同総会で報告することとなった。

投票要領(改定案)

1. 投票用紙を本学会指定の封筒に入れ封をし、~~住所氏名を明記した別の封筒に入れて、~~事務局に期日までに郵送、あるいは持参すること。
 2. 次の投票は一部またはすべて無効とする。
 - ・所定の連記数を越えて記入されている場合は全部無効。
 - ・同一人が重複記入されている場合は 1票として数える。
 - ・他の選出単位地域所属の会員氏名が記入されている場合は、その記入に限り無効。
 - ・投票用紙及び封筒を本学会指定以外のものを使用したもの、~~投票用紙に投票者の記名のあるもの、指定封筒無記名のもの、~~1指定封筒内に 2枚以上の投票用紙が入っているものは全て無効。
- ③ 2023 年度千葉大会について、宍戸大会運営委員長から準備状況等について説明があった。学会の開催方法は現地開催とオンラインのハイブリッド方式による。学生優秀発表賞は、選考委員は、新・旧の両評議員、執行部役員、大会運営委員から、発表に連名になっている会員を除いたメンバーとして、GPA 方式で採点し、インターネットで集計し、総会で表彰する。
- 総会では、「土と微生物」誌の完全電子ジャーナル化を行う方向であることを、今回は、方針として説明して理解を求める。
- ④ 2024 年度大会は、名古屋で村瀬先生を運営委員長として開催される予定であることが説明された。

4) 会計報告 (資料 1 参照)

(1) 2022 年度会計報告

(2) 2022 年度会計監査報告

2023 年 5 月 18 日に坂本淳氏、加藤孝太郎両氏による会計監査が行われ、支出収入に誤りのないことが確認された。

2023 年度事業計画

1) 2023 年度事業計画案

- (1) 2023 年度千葉大会を現地開催とオンラインのハイブリッド方式で開催する。
- (2) 学会誌「土と微生物」を発行する。
- (3) 2024 年度大会を名古屋大学で開催するための準備を進める。
- (4) 土壌微生物学会基金による事業助成の募集を行う。

2) 2023 年度予算案 (資料 2 参照)

3) その他 「土と微生物」誌の完全電子ジャーナル化検討について

資料1 2022年度会計関連報告

日本土壌微生物学会 2022年度会計報告 (2023.3.31現在)

①2022年度収入の部

項目	予算額	決算額	差額	執行率	備考
前年度繰越金	3,610,408	3,610,408			
正会員費	1,585,000	1,140,000	-445,000	72%	計228名*5,000円
購読会員費	168,000	174,000	6,000	104%	21機関29口*6,000円
賛助会員費	210,000	210,000	0	100%	17社21口*10,000円
M&E誌代金	0	10,000	10,000		2件*5,000円
大会運営費返金	0	0	0		鹿児島大会(オンライン開催のため返金なし)
雑収入	50,000	121,343	71,343	243%	印税および著作権料106323円、バナー広告料15000円、利子20円
小計 (単年度収入分)	2,013,000	1,655,343	-357,657	82%	
合計 (繰越金を含む)	5,623,408	5,265,751	-357,657	94%	

②2022年度支出の部

項目	予算額	決算額	差額	執行率	備考
会誌刊行費	1,050,000	1,085,351	35,351	103%	Vol.76No.1(460,889円)、Vol.76No.2(624,462円)、会誌送付
大会運営費	400,000	40,019	-359,981	10%	2022年度鹿児島大会予備費(40,019円)、2023年度千葉大会準備費(執行なし)
日本農学会分担金	50,850	49,500	-1,350	97%	2023年度分
学術シンポ等補助	0	0	0		
M&E誌印刷・発送手数料	25,000	10,000	-15,000	40%	M&E誌購読会員2件分 Vol.36No.1~4(各2部)、印刷・発送費
M&E誌共同編集・出版費	200,000	200,000	0	100%	2022年度分
公開シンポジウム・出前授業経費	10,000	10,000	0	100%	公開シンポジウム講師謝金
事務費	288,000	204,272	-83,728	71%	
事務管理費	50,000	21,831	-28,169	44%	ホームページ使用料、ゆうちょダイレクトトークン発行料金、事務アルバイト謝金など
旅費交通費	30,000	8,460	-21,540	28%	諸会議出席費
会議費	30,000	29,480	-520	98%	Zoom契約料、評議員会等関連経費
通信郵送費	100,000	67,077	-32,923	67%	会費請求、評議員選挙関連郵送料、郵便・宅急便など
文房具費	3,000	187	-2,813	6%	のり
諸印刷費	70,000	75,312	5,312	108%	会議資料、会費請求、封筒など
雑費	5,000	1,925	-3,075	39%	振込手数料など
小計 (単年度支出分)	2,023,850	1,599,142	-424,708	79%	
小計 (次年度繰越金)	3,599,558	3,666,609	67,051		
合計 (繰越金を含む)	5,623,408	5,265,751	-357,657		

③日本土壤微生物学会基金（2023年3月31日現在）

前年度末残高	当年度増加額	当年度減少額	当年度末残高	備考
4,199,031	36	0	4,199,067	利子 36円

④財産目録（2023年3月31日現在）

項 目	金 額
現金	2,220
ゆうちょ振替口座	1,243,323
ゆうちょ銀行総合口座	2,421,066
常陽銀行普通預金	0
ゆうちょ銀行通常貯蓄貯金口座(基金用)	4,199,067
財産合計	7,865,676

⑤備品目録（2023年3月31日現在）

項 目
ノートパソコン
プリンタ
会員管理ソフト
HPビルダー
Mac用Ethernetアダプタ

2022年度 会計監査報告

本日、金銭、出納簿、預金通帳および各種領収書について詳細に監査した結果、各帳簿、領収書ともに極めて整然としており、支出収入に誤りのなかったことを報告いたします。

日本土壤微生物学会会計監査委員

氏名 坂本 淳^{（印）}

令和5年5月18日

氏名 加藤 孝太郎^{（印）}

令和5年5月18日

資料2 2022年度予算案

日本土壌微生物学会 2023年度予算案

(1) 2023年度収入の部			参考(2022年度)		(2021年度)
項目	予算額	算出方法	予算額	決算額	決算額
前年度繰越金	3,666,609		3,610,408	3,610,408	3,123,504
正会員費	1,635,000	327名(5/2時点)*5,000円 (正会員338名-会費免除者11名=327名)	1,585,000	1,140,000	1,465,000
購読会員費	168,000	25機関28口*6,000円	168,000	174,000	180,000
賛助会員費	210,000	17社21口*10,000円	210,000	210,000	200,000
M&E誌代金	10,000	購読会員2件	0	10,000	15,000
大会運営費返金	0	千葉大会返金なし	0	0	8,004
印税、著作権料	100,000	印税、著作権料			
雑収入	20,000	バナー広告料、預金利子	50,000	121,343	108,471
小計 (単年度収入分)	2,143,000		2,013,000	1,655,343	1,976,475
合計 (繰越金を含む)	5,809,609		5,623,408	5,265,751	5,099,979
(2) 2023年度支出の部			参考(2022年度)		(2021年度)
項目	予算額	算出方法	予算額	決算額	決算額
会誌刊行費	1,080,000	Vol.77No.1、Vol.77No.2、会誌送付	1,050,000	1,085,351	1,144,731
大会運営費	300,000	2023年度千葉大会準備費(執行なし)、2024年度名古屋大会準備費(30万円)	400,000	40,019	0
日本農学会分担金	50,000		50,850	49,500	50,850
学術シンポ等補助	0		0	0	0
M&E誌印刷・発送手数料	10,000	Vol.37(No.1~4)、2件分	25,000	10,000	10,000
M&E誌共同編集・出版費	200,000	確定額	200,000	200,000	200,000
公開シンポジウム・出前授業経費	10,000	公開シンポジウム講師謝金	10,000	10,000	0
事務費	328,000		288,000	204,272	83,990
事務管理費	40,000	ホームページ使用料、事務アルバイト謝金など	50,000	21,831	1,571
旅費交通費	30,000	諸会議出席費	30,000	8,460	0
会議費	70,000	Zoom契約料(3万円)、評議員会等関連経費	30,000	29,480	0
通信郵送費	100,000	会費請求、評議員選挙関連郵送料、郵便・宅急便など	100,000	67,077	14,980
文房具費	3,000		3,000	187	2,195
諸印刷費	80,000	会議資料、会費請求、封筒など	70,000	75,312	65,079
雑費	5,000	振込手数料など	5,000	1,925	165
小計 (単年度支出分)	1,978,000		2,023,850	1,599,142	1,489,571
小計 (次年度繰越金)	3,831,609		3,599,558	3,666,609	3,610,408
合計 (繰越金を含む)	5,809,609		5,623,408	5,265,751	5,099,979